

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-4-3		事業名	消防施設耐震補強事業
担当	消防局総務部施設管理課 加藤 Tel 215-2030			
全 体 計 画				
事 業 内 容	<p>市有建築物耐震化緊急5ヶ年計画に基づき、南消防署及び中央消防署大通出張所の耐震化に伴う改修工事を実施する。</p>			
	<年度別の事業内容>			
事 業 内 容	<p>【平成20年度】南消防署実施設計 【平成21年度】南消防署耐震化改修工事実施 【平成22年度】大通出張所実施設計</p>			
平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
事 業 内 容 ・ 量 ・ 場 所	<p>南消防署庁舎の耐震化改修工事に伴う実施設計を完了した。</p>			
平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)		
規 模 ・ 件 数 等	<p>南消防署署の耐震化に伴う改修工事を実施した。</p> <p>大通出張所は、札幌星園高等学校の跡地活用として豊水出張所との統合出張所を建設する計画として調整中であることから、耐震化の改修工事を実施しない方向で、平成22年度の実施設計は行わない。</p>			

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-4-3		事業名	消防施設耐震補強事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
[消防施設]耐震性能の強化(累計)	-	-	1施設	1施設	1施設	耐震補強実施	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 該当なし</p> <p>■企業等との連携・協働 該当なし</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 該当なし</p>							
評価(成果)	課題						
消防施設は災害時において機能維持を強く求められる応急活動の拠点となる施設と位置づけられており、耐震化緊急5ヵ年計画に基づき耐震化改修を進めることにより、地震などの大規模災害において消火救出活動する消防職員や消防車両などの資機材を施設倒壊から保護し、機動力を保持するとともに、応急的に消防施設に避難してくる地域住民の安心安全を確保することができる。	平成22年度に耐震化改修実施設計を予定している中央消防署大通出張所(昭和39年築、Is値0.24)については、豊水出張所との統合出張所として計画する。						
今後の事業の予定・方向							
<p>全体計画で示していた大通出張所実施設計については豊水出張所との統合出張所として、平成23年度に実施設計、平成24年度に建築工事を実施する予定となっている。また、市有建築物耐震化緊急5ヵ年計画において、「引き続き計画的に耐震化」と位置づけられている東消防署北栄出張所(昭和41年築、Is値0.39)、豊平消防署美園出張所(昭和41年築、Is値0.39)、西消防署琴似出張所(昭和34年築、Is値0.31)については、「市有建築物中期整備計画」、「札幌市消防局運営方針」などに基づき、老朽化、狭隘化が著しいことから耐震化改修ではなく、計画的に移転改築を実施していくこととして調整する。</p>							

様式イ

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)